



ファミサポ通信

平成26年3月発行

おいで・おいで

2014
29

CONTENTS



(お絵描きが大好きなSちゃん♡協力会員さん宅で描きました。)

- ファミサポこの1年
- やさしさの支えあい
- 26年度の行事予定
- 事務局から



やまがファミリー・サポート・センター
(山鹿市社会福祉協議会)
山鹿市中578番地(健康福祉センター内)
電話44-8800 FAX36-9310
メールアドレスfamilysupport@yamasha.or.jp



ファミリー・サポート・センターこの1年

育児サポーター養成講座
H25.7.27(土)
新協力会員さん8人
誕生！！



会員交流会
H25.8.3(土)
エコクッキングに挑戦しました

子育て支援研修会
H25.12.14(土)
ことばの力に引き込まれました



山鹿 H26.2.19(水)
ねんねの赤ちゃんと一緒に



鹿北 H26.2.15(土)
つきたてのお餅は温かいね

各地域の子育て支援センター
との交流会を実施
集まっていたいただいた方々に紙
芝居を通してファミサポの事業を
お伝えしました



菊鹿 H25.10.23(水)
地域の食材でピビンバ作り



鹿本 H25.1.21(月)
お手玉、あやとりで楽しく交流



鹿央 H25.10.21(月)
感謝の気持ちを短歌で表現

～やさしさの支えあい～

(依頼会員 J・Y さんより)

私は、2人目を出産後、約2ヶ月間利用させて頂きました。

きっかけは幼稚園の先生からの紹介です。ファミリー・サポート・センターの存在は知っていましたが、そのシステムについては理解していなかったため、担任の先生に詳しく教えてもらいました。また事前の顔合わせも幼稚園で行って頂き、安心して利用することができました。

私も夫も県外の出身で両親も他界しており、頼る人がいなかったため本当に助かりました。依頼内容は娘(5歳)の幼稚園のお迎えで、2人の協力会員さんに分担してもらいました。娘は顔合わせの時は恥ずかしそうにしていたのですが、すぐに懐いて毎日ニコニコで帰って来ました。楽しいおしゃべりやお手紙のやりとり、折り紙や編み物で色々なおもちゃを作ってもらって大喜びでした。いつの間にかお2人の事が大好きになり、「年長さんになってもずっとお迎えに来てほしい！」と言うように……。普段、園と家庭での生活環境の中で、娘にとってとても新鮮な出会いだったようです。

協力会員さんの細やかで優しいお心遣いに感謝の気持ちでいっぱいです。また利用させていただけたらありがたいです。

(協力会員 T・N さん/K・K さんより)

私達2人は1月23日からファミリー・サポート・センターの協力会員としてサポート活動を始めました。1月17日に第2子を出産されたご家庭の5歳のお姉ちゃんの幼稚園のお迎えです。サポートを始める前に、ご家族や幼稚園の先生方との打ち合わせがありました。その時一応お顔合わせはしますが、小さい子どもさんが他人の大人に懐いてくれるか、とても心配でした。でも2～3日もすると、そんな心配はどこへやら……。とても元気な女の子で車に乗るまで大はしゃぎです。最近子どもさんから手をつないでくれ、いっぱいおしゃべりもし、あっという間に自宅についてしまいます。この楽しい日々も3月になればもうすぐお別れです。すてきな思い出をたくさんありがとうございました。



INFORMATION



～平成26年度の行事～

- ◆7月19日(土) 育児サポーター養成講座 : 会場 ひだまり
自分自身の子育ての学びの場に、また、子育て支援に関心をお持ちの方が会員登録のきっかけにもなる講座です。会員でないお友達にもお知らせ下さい。
地域の中で子育て支援の輪が広がることを願っています。
 - ◆8月 2日(土) 会員交流会 : 会場 ひだまり
～「おやこスタジオ ラフット」スタッフと一緒にシェイプアップ～
(熊本市で子どもから大人までを対象にふれあいヨガ等実施スタジオ)
キーボードの生演奏を聴きながら、楽しく親子で体を動かしたり、協力会員さんも一緒に体を動かせるプログラムです。楽しい一時を過ごしませんか。
 - ◆10月 子育て支援研修会【日程は未定】
 - ◆9月～3月 山鹿5地域での交流会も計画します。
- * 各行事のご案内は再度お知らせいたします。



事務局からの
お知らせ

ファミサポ会員数 (単位:人)

	24年度末	25年度 入会	退会	総数
依 頼	170	18	-26	162
協 力	102	13	-5	110
両 方	31		-1	30
計	303	31	-32	302

【H26.2.28現在】

=活動件数(述べ件数)=

・保育園・幼稚園の迎え	88
・学童保育の迎え	79
・保育園・幼稚園の迎え・預かり	76
・保護者就労時の援助	29
・その他	49

合 計321件
(H25.4.1～H26.2.28まで)



『子どもらの笑顔がつなぐ
人の和を見守り続け
われもほほえむ』

鹿央子育て支援センターとの交流会時に詠んだ句です。日頃、会員さんの温かい支え合いの輪の中で、私自身がいつも癒されていました。

子育て支援が目指すところは下記のようになっています。

- ◆子どもが元気、親も元気という姿
 - ◆子どもの日々の健やかな育ちを支えること
 - ◆親がいきいきとし、親が親であることを幸せに感じながら親としての自分を育んでいけるよう支えること
- そのお手伝いが少しでもできればと思います。1年間ありがとうございました。平成26年度もよろしく願い致します。(山 田)